

日本医師会の 女性医師支援に関する取り組みについて

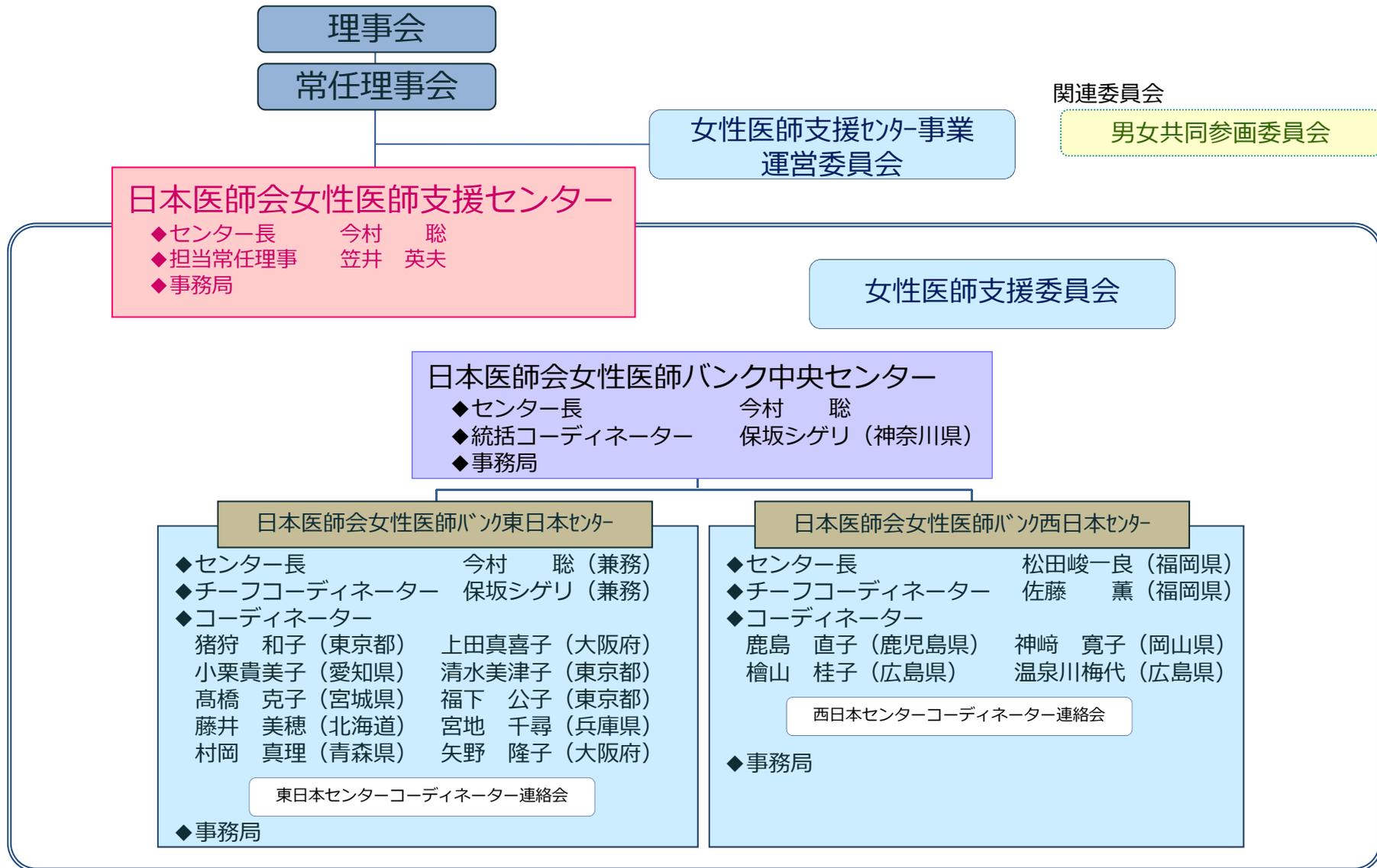
日本医師会常任理事
笠井 英夫

女性医師支援センター事業について

臨床医に占める女性医師の割合は約15%であるが、国家試験合格者では女性医師の占める割合は3分の1となっており、今後女性医師数は急増していくと予想される。女性医師は出産や育児により離職せざるを得ない状況にあり、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進を図り、もって医師確保対策に資することを目的とする。（厚生労働省委託「女性医師支援センター事業委託費実施要綱」より）

- 平成18年11月
厚生労働省より「医師再就業支援事業」を受託
- 平成19年1月
日本医師会女性医師バンク開設（就業継続支援、再研修含む）
女性医師バンク以外の事業も開始
- 平成21年4月
「医師再就業支援事業」改め「女性医師支援センター事業」へ
（女性医師の勤務継続への支援に重点を置き、更なる事業の発展を目指す。）

女性医師支援センター事業 組織図



(敬称略)

※ コーディネーターは、女性医師支援委員会委員に就任

平成26年度女性医師支援センター事業 事業計画

1. 女性医師バンクによる就業継続、復帰支援（再研修を含む）
2. 医学生、研修医等をサポートするための会
3. 各都道府県女性医師相談窓口への支援
4. 「女性医師支援事業連絡協議会」の開催
5. 女性医師支援センター事業ブロック別会議の実施
6. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助
7. 「2020.30」推進懇話会の開催
8. 大学医学部・医学会の女性医師支援担当者連絡会の開催
9. 「女性医師の勤務環境整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」の実施
10. 学会総会等へのブース出展
11. 女性医師の就労環境の改善と健康支援
12. 女性医師の生涯を通してのキャリア形成支援

女性医師バンクについて

「日本医師会女性医師バンク」平成19年1月30日開設

- ☆ 会員・非会員を問わず利用できる
- ☆ 求人・求職共に無料
- ☆ 現役医師のコーディネーターが、相談・マッチングにあたる

◇求職登録者数 : 238名 (累計715名)

◇求人登録施設数 : 1,647施設 (延べ1,871施設)

◇求人登録件数 : 1,034件 (延べ4,528件)

◇就業実績 : 398件

内訳) 就業成立 : 380件

再研修紹介 : 18件

(平成26年8月末現在)

医学生、研修医等をサポートするための会

女性医師が生涯にわたりもっている能力を十分発揮するためには、職場や家庭における男性の理解と協力が不可欠であり、性別を問わず、医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解しておくことが求められる。本講習会等を通じ、医学生や若い医師がキャリアを中断せずに就業を継続できるよう、多様な医師像のモデルを提示する。

◇ 都道府県医師会等に対し、開催を依頼

(平成18-19年度は男女共同参画委員会が都道府県医師会と共催)

平成18年度*	10
平成19年度	25
平成20年度	44(医師会32、その他12)
平成21年度	47(医師会34、その他13)
平成22年度	56(医師会43、その他13)
平成23年度	57(医師会44、その他13)
平成24年度	60(医師会44、その他16)
平成25年度	65(医師会49、その他16)

* 平成18年度はモデル事業として10道県のみ開催

◇ 開催に掛かる費用のうち、30万円を上限として、本会が負担

平成26年度女性医師支援センター事業ブロック別会議

地域からの声をお聞かせいただくと同時に、本事業へのご理解を深めていただくという、双方向による情報伝達ならびに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より全国6ブロックにて開催。

◇北海道・東北ブロック（担当：山形県医師会）

日 時：平成26年10月19日（日） 10時00分～

場 所：山形市内ホテル

◇関東甲信越・東京ブロック（担当：日本医師会）

日 時：平成27年1月17日（土） 15時00分～

場 所：日本医師会館

◇中部ブロック（担当：福井県医師会）

日 時：平成26年11月16日（日） 12時00分～

場 所：福井市内ホテル

◇近畿ブロック（担当：奈良県医師会）

日 時：平成26年11月30日（日） 14時00分～

場 所：奈良市内ホテル

◇中国四国ブロック（担当：岡山県医師会）

日 時：平成26年12月20日（土） 15時00分～

場 所：岡山コンベンションセンター

◇九州ブロック（担当：佐賀県医師会）

日 時：平成26年12月7日（日） 14時00分～

場 所：佐賀市内ホテル

女性医師支援事業連絡協議会の開催

各地で実施されたブロック会議の内容を、全国規模で情報共有し、意見交換を行う機会として開催。

(参考)

平成25年度 女性医師支援事業連絡協議会

次 第

日時：平成26年2月21日（金）

場所：日本医師会館 小講堂

開 会
挨 拶
議 事

1. 女性医師支援センター事業ブロック別会議 開催報告
(各ブロック会議の総括や特徴的、先進的な取り組みの紹介)

- ①北海道・東北ブロック
- ②関東甲信越および東京ブロック
- ③中部ブロック
- ④近畿ブロック
- ⑤中国四国ブロック
- ⑥九州ブロック

2. 質疑応答（全体）・総合討論

閉 会

医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

勤務継続及び復職の支援の一環として、育児中の医師の学習機会を確保するため、各医師会が主催する講習会、講演会、研究会等に託児サービスを併設する費用を補助する。

対象：都道府県医師会または郡市区医師会が主催する講習会、講演会、研究会 等

【利用実績】

	利用医師会数	利用者数(子どもの数)
平成21年度	14医師会	102人
平成22年度	20医師会	231人
平成23年度	20医師会	174人
平成24年度	23医師会	284人
平成25年度	20医師会	343人

上記には、日本医師会利用分も含む

「『2020.30』推進懇話会」について

日本医師会では、第3次男女共同参画基本計画の閣議決定（平成22年12月）を受け、本会役員や、委員会委員への女性医師の積極的登用を図るため、一定の目標を定めている。「2020.30」推進懇話会は、その目標達成のための具体的な施策として、女性医師に「本会の組織・運営・活動に関わる理解を深め、将来、本会の活動に参加して頂く」ことを目的として、平成23年度より開催している。

【平成26年度日程】

- | | | | |
|-----|---------------|---------|----------|
| 第1回 | 平成26年10月4日（土） | 14時～16時 | 日本医師会小講堂 |
| 第2回 | 平成26年12月ごろ | 14時～16時 | 日本医師会小講堂 |

【参加者】

- 第1回　　これまで参加者されたことのない方を対象として開催。
都道府県医師会に対し、女性医師支援や男女共同参画の分野には携わっていない方々も含め、広くご推薦を募る。
- 第2回　　これまで参加されたすべての方を対象として開催。

【内 容】

- 第1回　　平成24年度第1回と同様、以下の内容で開催。
1. 日本医師会の組織と事業内容　　2. 日本医師会の運営の実際
3. 当懇話会について
- 第2回　　医師会が直面する問題とそれに対する取り組みについて担当役員が説明し、その後、質疑応答を行う。

大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会の開催について

- 【目 的】
- ・本会女性医師支援センターの取り組みの周知
 - ・各大学医学部および各医学会における女性医師支援や男女共同参画に関する取り組みについての情報（意見）交換
- 【開催日時】 平成26年9月26日（金） 連絡会 14時～16時（於：日本医師会大講堂）
茶話会 16時～ （於：日本医師会小講堂）
- 【参加者】
- ・各都道府県医師会から推薦いただいた、管内の大学医学部の女性医師支援や男女共同参画の担当者
 - ・各日本医学会分科会（122学会）の女性医師支援や男女共同参画の担当者
 - ・都道府県医師会担当役員等
- 【内 容】
1. 日本医師会の女性医師支援に関する取り組みについて
 2. 事例発表
 - i. 大学の取り組み（3大学）
 - ii. 学会の取り組み（1学会）
 3. 意見交換
 - ・日医の取り組みについてのご意見、ご要望等
 - ・各大学、各学会の取り組みについてのご質問等

「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」

【標記講習会について】

目的：女性医師がキャリアを中断することなく、就業を継続するためには、病院長を始め上司・同僚の理解が不可欠であることから、女性医師に関する就業上の問題点を明らかにし、子育て支援についての理解を深める

- ・ほぼすべての都道府県医師会において開催することができたこと、また、対象となる病院長、病院開設者・管理者等の交代が、それほど頻繁ではないこともあり、平成21年度以降は一旦休止。
※平成25年度より再開。

年度	開催回数 (都道府県医師会と共催)
平成18年度	22回
平成19年度	28回
平成20年度	31回
平成25年度	22回



法律や制度面での変化

病院長等、対象者の入れ替わり



標記講習会を再開し、
女性医師の勤務環境の整備をさらに推進

学会総会等へのブース出展①

◇第111回日本内科学会総会・講演会

平成26年4月11日（金）～13日（日） 於：東京国際フォーラム

ブース出展

来訪者数・対応者	4月11日（金）	30人	鹿島先生、小森常任理事、事務局
	12日（土）	82人	猪狩先生、高橋先生、檜山先生、矢野先生
	13日（日）	47人	秋葉先生、猪狩先生、小栗先生、鹿島先生、 高橋先生、檜山先生、矢野先生、渡辺先生、事務局

計159人



◇第54回日本呼吸器学会学術講演会

平成26年4月25日（金）～27日（日） 於：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル（大阪）

ブース出展（日本呼吸器学会男女共同参画委員会ブースに併設）

来訪者数・対応者	4月25日（金）	12人	事務局
	26日（土）	11人	檜山先生
	27日（日）	3人	檜山先生、渡辺先生、事務局

計 26人

学会総会等へのブース出展②

◇第26回日本アレルギー学会春季臨床大会

平成26年5月9日(金)～11日(日) 於：国立京都国際会館

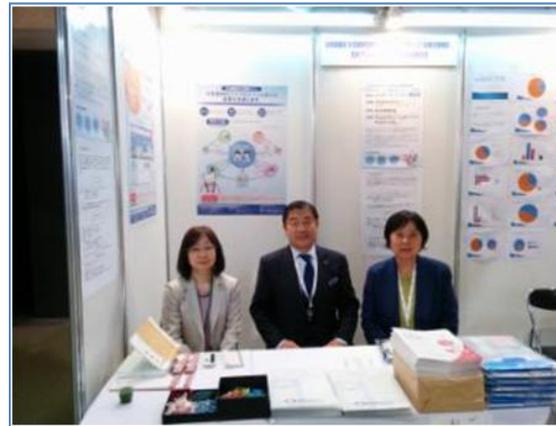
ブース出展(日本アレルギー学会男女共同参画委員会ブースを併設)

来訪者数・対応者 5月 9日(金) 26人 小森常任理事、事務局

10日(土) 30人 檜山先生、矢野先生、小森常任理事、事務局

11日(日) 12人 檜山先生、矢野先生

計 68人



◇第87回日本整形外科学会学術総会

5月22日(木)～5月25日(日) 於：神戸ポートピアホテル 他

パネリディスカッション「女性整形外科医のキャリアデザイン」(5/25 10:45～)にて冊子、リーフレットを配布

参加者 5月25日(日) 猪狩先生(パネリスト)、村岡先生、渡辺先生

◇第113回日本皮膚科学会総会

5月30日(金)～6月1日(日) 於：国立京都国際会館

「皮膚科の女性医師を考える会」(5/31 13:05～)にて冊子、チラシ、グッズを配布

参加者 5月31日(土) 小栗先生

「女性医師の多様な働き方を支援する」

女性医師の多様な働き方・生き方を紹介するとともに、様々な年代・立場の女性医師からいただいた今後の女性医師支援についての提言を掲載。その他、本会女性医師支援委員会委員と本会役員等が行った議論の内容や、直近で実施した医学生に対するアンケートや女子医学生による座談会の内容なども掲載。



「女性医師のキャリア支援」DVD

女性医師のキャリア形成やライフスタイルのあり方を多くの女子医学生、研修医や若手の女性医師に伝えることを目的として、ロールモデルとなる女性医師の働き方や女性医師支援に携わる様々な立場の方々の考え方、取り組みを紹介するDVDを作成。

DVDは3枚組でそれぞれ以下の内容を収録。〔敬称略、肩書きは作成時（H24.1）のもの〕

1枚目 : 【講演編】

○ご挨拶

- ・ 社団法人日本医師会副会長・日本医師会女性医師支援センターセンター長 羽生田俊

○講演

- ・ 日本医師会の女性医師支援について
社団法人日本医師会常任理事 保坂シゲリ
- ・ 女性医師支援と男女共同参画
自治医科大学医学部長 桃井眞里子
- ・ 女性医師キャリア支援
横浜市立大学大学院医科学研究科長、生体制御・麻酔科学主任教授 後藤隆久
- ・ 女性医師支援が病院を活性化する
大阪厚生年金病院名誉院長・統括医療顧問 清野佳紀

2枚目 : 【対談・インタビュー編1】

- ・私の選択（心臓血管外科、小児科）
東京女子医科大学心臓血管外科 立石実、 青森県立中央病院小児科 會田久美子
日本医師会女性医師支援委員会委員、青森県医師会女性医師活躍推進委員 村岡真理
- ・二人三脚、医師夫婦の一例
福岡大学医学部外科学講座消化器外科 愛洲尚哉、 日本医師会女性医師支援委員会副委員長 家守千鶴子
- ・行政で働く女性医師
厚生労働省大臣官房国際課課長補佐 高岡志帆、 東京女子医科大学医学部第一生理学教室教授 川上順子
- ・今求められる医師像 医学教育の立場から
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授・医歯学教育開発センター長 田川まさみ
日本医師会女性医師支援委員会委員、青森県医師会女性医師支援室長 鹿島直子

3枚目 : 【対談・インタビュー編2】

- ・産婦人科の女性医師として
都立多摩総合医療センター産婦人科部長 桑江千鶴子、
社団法人日本医師会常任理事 保坂シゲリ
- ・眼科医として
日本医科大学眼科学教室准教授 堀純子、
日本医師会女性医師支援委員会委員 福下公子
- ・自分の命を主人公に（在宅医療にかける）
緩和ケア診療所ふじ内科クリニック院長 内藤いづみ
日本医師会女性医師支援委員会委員長・日本医師会女性医師バック中央センター統括コーディネーター 秋葉則子
- ・病理の醍醐味
独立行政法人国立成育医療センター病理診断部部長 中澤温子、 東京女子医科大学医学部第一生理学教室教授 川上順子



日本医師会女性医師支援センター ホームページ



(TOPページ)

《www.med.or.jp/joseiishi/》

【主な内容】

◇支援情報

- ・各種制度の紹介
- ・女性医師バンクの事例紹介
- ・活躍中の女性医師の紹介

◇よくあるご質問

- ◇各地の女性医師相談窓口のホームページへのリンク 等

各種の支援情報を発信することにより、事業のより一層の充実を図る

「女性医師支援に関するアンケート調査」 (大学・学会)

◇調査の目的◇

日本医師会は、厚生労働省の委託事業である女性医師支援センター事業（旧：医師再就業支援事業）を平成18年度より開始し、事業の中核である女性医師バンクによる復職支援をはじめとして、各種講習会における“女性医師の勤務環境の整備”や“ワークライフバランス”等の啓発活動により就業継続支援を行ってきたほか、女性医師の意志決定の場への参画推進にも取り組んでいる。

また、近年は各地で実施している支援策のより一層の充実を図るため、「大学医学部女性医師支援担当者連絡会」や「女性医師支援センター事業ブロック会議」等の開催を通じ、情報の共有や意見交換を行うことで、医師会、大学、行政等、各団体の更なる連携の強化にも注力している。

このような女性医師支援のための各施策を、今後より実効あるものとするため、各大学、各医学会における女性医師支援の取り組みについてのアンケート調査を行うことにした。

◇調査の概要◇

- 調査依頼日：平成26年1月29日 回答期限：平成26年2月21日
- 調査方法（大学）：全国80の大学医学部に対し、調査票を送付し、回答を返送いただいた。
（学会）：日本医学会分科会に加盟する各学会に対し、調査票を送付し、回答を返送いただいた。
- 回収数 （大学）： **65大学**（回収率81.25%）
 （学会）： **102学会**（回収率86.44%）